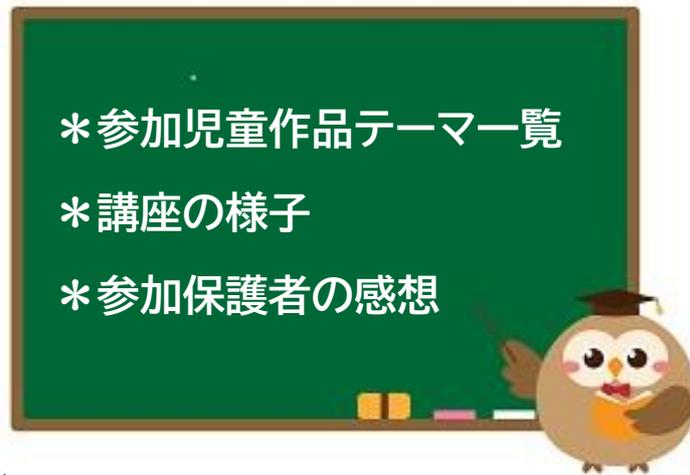


令和6年度

親子でチャレンジ調べる学習講座 報告



1 実施日時

6月22日（土）23日（日） 14:00～17:00

7月6日（土）7日（日） 14:00～17:00

2 実施場所

茅野市図書館 2階閲覧室・どんぐり図書室

3 参加者

(出席者数)	親子(組)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
6/24(土)	6	0	1	5	0	1	1	6組8名
6/25(日)	8	0	1	3	0	2	2	8組8名
7/8(土)	8	0	2	3	2	1	1	8組9名
7/9(日)	6	0	0	2	1	2	2	6組7名
計	28	0	4	13	3	6	6	32名

*申し込み数 のべ31件 36名 (2回申し込み 8組10名)

*欠席数 3件 4名 (すべて1回目のみ参加2回目欠)

実参加者数 22件 (保護者 23名・児童 26名 計 48名)

(昨年度比 件数+5 児童数+7)

茅野市こども読書活動応援センター

令和6年度 親子でチャレンジ！図書館を使った調べる学習講座

参加者作品テーマ一覧 ※作品テーマは、本人表記の通り

学校名	学年	テーマ
永明小	2	たいようけいのほしのはやさ
北山小	2	どうして だんごむしやくわがたむしとか かぶとむしとかは、だっぴをするの？
玉川小	2	きりんのねかたはどんなの？
豊平小	2	なんでマッチは火がつくのか
泉野小	3	地球の内部構造
永明小	3	瑞って いつならうの？
永明小	3	電気の元とは？
金沢小	3	アイスホッケー なんでだろう
金沢小	3	なぜ歌がうまれたの？
北山小	3	どうしてにんげんは一回かんだらもうかまないのに、やぎはもういっかいかむのか？
玉川小	3	ペットボトルの水はなぜおちないのか
宮川小	3	漢字、ひらがな、かたかなは、なんでこんな字になったの？
宮川小	3	電車は なぜ せんろしかとおらないの？
米沢小	3	なぜ、肉球がないとよくないのだろう？
豊平小	3	ことわざのいろいろを調べよう！
		人間の歯ってどうなっているの
玉川小	4	どうして納豆はねばねばしているのか？
宮川小	4	食べ物の名前は、どうやってできた？
宮川小	4	アニメーションはいつから？
金沢小	5	雷とは？
玉川小	5	カルメ焼きはどうすれば上手くできる？
米沢小	5	縄文人はどんなところに住んでいたのかな？
米沢小	5	信号機
豊平小	5	どこにいるの ドクターヘリ
永明小	6	松代大本営は、なぜ松代につくられた？
		長野県には空襲がなかったのか？
金沢小	6	日本どこでレモンを作り、どこから輸入しているのだろう
		レモンはどんな種類があるのだろう
米沢小	6	都道府県のなぞ ～なぜ県だけじゃないの？～

*色付きのセルは2回参加

参加者の様子から

6月22日（土）



なんでマッチに火がつくのか？

自分なりに調べたいことをもって参加した2年生。「どうして火がつくのか、知りたい」という初めの「？」はちょっと大きなテーマだったので、一緒に来ていたお父さんからのインタビューで、知りたいことを絞り込んでいきました。「何を見たときに、火が気になったの？」お父さんからのインタビューに答えるうちに、「火」の中でも「マッチは、は

ことぼうで火がつくのがなんでかしりたい」と焦点化することができました。

「じょうもんじだいで、きりもみしきは木でできているから、木と木で火がおこせるなら、あつがみと木でも火はおこせるんじゃないか」としっかり予想をして本を探しましたが、小学2年生が理解できる文献資料はなかなか見つかりません。市図書館の司書さんが一緒に探してくれた『最新モノ事典』から、ようやくマッチのしくみを見つけることができました。ところが…マッチの先についている薬品は難しい名前でも「よそうとちがったところは、くすりがつかわれていたことです。よそうとおなじだったところは、こすりあわせることです。」とわかったことを整理することができました。

6月23日（日）

どうして だんごむしやくわがたむしとかかぶとむしとかは、だっぴをするの？

どんなテーマにしようか… 何か好きなものや気になることはあるかな？

「ダンゴムシ！」

「ダンゴムシのどんなことが気になるの？」

「だっぴ！」

そんな会話からスタートした2年生。

普段の生活の中で、子どもたちを取り巻く自然には不思議がいっぱいです。大人たちが当たり前のように見過ごしてしまう事にも、生き物たちの生きる知恵がたくさん隠されていて、子どもたちはそんな知恵につながる姿を見逃しません。

ダンゴムシの脱皮を調べるうちに、脱皮には、脱皮⇒さなぎ⇒成虫⇒羽が生える「完全変態」と、脱皮⇒成虫⇒羽が生える「不完全変態」、脱皮⇒成虫⇒羽は生えない「無変態」があり、ダンゴムシは「無変態」であることがわかりびっくり。身近なカブトムシやクワガタムシの脱皮と気になっていたダンゴムシの脱皮とでは、その仕組みが違うことがわかり、「知らなかったことが知れてうれしかった！」と笑顔で発表することができました。



6月の講座に参加した保護者の感想より

- ・ぼんやりながらもテーマは考えてありました。しかし「調べる」という事の奥深さには驚きました。日頃から、ネットやスマホですぐ“検索”をしていましたが、本やグラフなどで、少しずつ情報を収集することの難しさと驚きは、とても新鮮でした。私が学生の頃には、辞書や年表、地図も見慣れていたのに、ラクに手に入る情報にすっかり甘えていた自分。子どももたくさん刺激をもらったと思いますが、私も一緒に目線で刺激をいただきました。今後、子どもが学んでいく過程で、必ず役に立つスキルなのだと思うと、参加できたことに感謝しています。(6年母)
- ・調べたいことを大まかに決められても、そこからのほりさげがむずかしく、どう調べていきたいのか、まとめていけばいいのかを、子どもと一緒に教えていただきました。内容はまだまだ未完成ですが、ひとつのことをじっくり調べられた時間は、とても充実した時間でした。まとめ方は難しい。もう少し時間がかかりそうです。(5年母)
- ・親子でテーマを決めるにあたり悶々としていましたが、センターの方々に助言をいただいた事で光が見えてきました。毎年ありがとうございます。3時間はあっという間なので、可能であれば13時 or 13時半くらいから開始していただければ嬉しいです。(6年母)
- ・資料を集めるにあたり、テーマそのものが見つからなくとも、様々な視点から探すのが大切だと思い知った。あきらめずに探す心を忘れないようにしたい。(2年父)
- ・初めて夏休みの宿題で調べ学習が出る学年になり、親子ともに少し不安に感じていました。進め方を教えていただき、子どももできていて安心しました。少しテーマが難しいので、また参加して、さらに調べられたらと思います。(3年母)
- ・広い場所で、ゆっくりと自由に調べ始めて、楽しそうでした。難しく考えず、ちょっとしたことからプチ調べをすればいいんだと思いました。蔵書の中から目的の本を見つけるのが、なかなかこずっていたので、納め方を見直すか、エスコートした方がいいと思いました。(3年母)
- ・去年は、まとめ方の講座に参加させていただきました。夏休みに調べ学習に取り組んだことで、今回の講座ではだいぶ自分から進んで調べたりまとめたりしていて、成長を感じました。普段から、いろいろなことに興味があるのですが、インターネットではなく本を使って調べて深めていくことは、とても良い経験になると思います。親だけではなかなか難しいので、こうした講座で教えていただけることがとてもありがたいです。(3年母)
- ・頂いた資料も、ご説明頂いた内容も解りやすく、今後子どもに指導するうえで必要な知識を得ることができました。大人でも知らなかったことが多くあり、子どもと一緒に取り組むことで、逆に勉強になった部分が多々ありました。(2年母)
- ・3回目の参加でしたが、参加するたびに勉強になることが多く、また新しい発見もあって、あっという間の3時間でした。親子共々、これからもっと調べたいことや自分の目で見て、確かめたいことなどが分かってきました。娘が毎年楽しみながら取り組んでいる調べる学習を、親も一緒に楽しめたらいいなと思います。(5年母)
- ・毎年のことですが、テーマを決めるまでにひと苦労！ですが、候補を決めると進める方向性などをアドバイスしてくれたので、少しずつ見通しを立てることができました。テーマを見つけるまでに時間がかかったので、合う本を探すことができるか心配でしたが、スタッフの方々が次々とワクワクするような本を見つけてくれて、とてもスムーズに後半は進められました。さすが本のプロですね。みなさんのお知恵を借りて、今年も頑張れそうです。ありがとうございました。(6年母)

7月6日（土）

食べ物の名前は、どうやってできた？



親子でチャレンジ初体験の4年生。テーマを決めるのに少し迷い、「一番気になること、知りたいなと思うこと」を考えると、「テレビで、数字がどうやってできたのかを見て、数字以外の言葉がどうやってできたのか気になった。」と言葉に注目。最初は「数字以外の言葉」という大きい「？」でしたが、その中でも特に気になることを絞っていくと、「例えば、蕎麦はどうしてソバって名前になったの

か？とか、蕎麦だけじゃなくて、いろいろ食べ物の名前とか誰が決めたのか不思議だなと思う」と、「身近な食べ物」にテーマを絞り込んでいきました。「形とか、そういうことで決まったのかな？」と予想をたてて調べ始めたものの、本を探すのに一苦労。でも。「ことば」に関係する本を求めて、学校での学習を思い出しながら8類の棚から資料を見つけることができました。「語源」という新しいことばも覚え、「調べたり書いたりするのがどんどんできていって楽しかった。」と、さらに他の「ことば」調べにも意欲をふくらませていました。

都道府県のなぞ

～なぜ県だけじゃないの？

6月に続いて参加した6年生。

家族で旅行したときに生まれた素朴な疑問。「大阪って大阪府。なんで大阪県じゃないの？」

大人にとっては当たり前のことが、子どもにとっては大きな疑問になることを教えられました。

6月から引き続き調べるうちに都道府県名の「府」「都」「道」の持つ意味や由来が分かってきたと

ころ、「長野県や東京都など、みんな長野とか東京って、県や都を省略して呼ぶけれど、北海道は道を省略して北海って呼んだりしないのはなぜだろう？」と、新たな疑問が生まれてきました。

「北海道の人たちには、北海道を特別大切に思っているからかな？」と予想をたてて調べるうちに、廃藩置県など歴史や政治にかかわる資料も出てきて、都道府県の名前にまつわる話の奥深さに驚いていました。「北海道の人に話を聞いてみたいな」という本人に、「北海道までは行けないけど、どうする？」とお母さん。家族旅行をきっかけに生まれた疑問から、都道府県の歴史を紐解く楽しい調べる学習が、どんなふうに進展しまとめられていくのか、とっても楽しみです。



7月7日（日）

レモンはどんな種類があるのだろう？



6月に「日本はどこでレモンを作り、どこから輸入しているのだろう」とレモンの産地や輸入量を調べ、次は「レモンの種類を知りたい」と参加した6年生。「種類を知りたい」からどう発展させていくのか悩みましたが、話をする中で、自分自身が料理好きだということから、「レモンにはどんな種類があって、どの種類がどんな調理法に合うのか知りたい」と、ねらいを絞っていくことができました。レモンの産地によって呼び方が違っていたり、特産品として地名が付いていたり、品種名なのか商品名なのかわかりにくいところに苦労しながら、自分なりに整理してまとめることができました。

国産レモンと輸入レモンの違いにも注目しながら、さらに調べていきたいと意欲をふくらませています。レモンの種類によって酸味が違うと、調理法も変わるんじゃないかという予想が、夏休みの調べる学習の深まりにつながるというですね。生産者や調理をする方などにインタビューしながら、自分の納得のいく調べる学習になっていくのが楽しみです。

7月の講座に参加した保護者の感想より

- ・保護者も初めてのことで、どうやって進めていくのか心配していたが、子どもたちが考えて進めていけるように、ていねいに教えていただけて、ありがたかったです。これからもサポートしていただけると、ありがたいです。（3年祖母）
- ・楽しむために本を読む、探すだけではなく、調べるためにどの本のどのページにあるかを、時間の限りある中で、集中して取り組めたこと、子どもと一緒にできたことがよかったです。疑問を持つこと、辞書で調べることが大事といわれます。子どもに伝えながら、自分もそうしていきたいと思います。（4年母）
- ・調べる取り組みも、家だけではなかなか進まないことも。たくさんお本を調べると疑問が広がったり、知らなかったことがわかったりして、子どもも楽しく取り組めて、よかったです。（2年5年母）
- ・第3回に参加したのですが、テーマを決めるところがむずかしかったので、第1回・第2回に先に参加していた方が良かったかなと思いました。テーマが決まった後は、本を紹介していただいたので、どんどん調べることができて、子どもも面白そうに取り組んでいました。（4年母）

7月の講座に参加した保護者の感想より

- ・テーマにたどり着く前に、テーマの全体像を把握するための疑問が多く出てきて、調べるのに苦労している反面、予想が当たっていた時の嬉しそうな表情と、きょうみをもったものへの集中には、改めてすごいなあと感じました。なかなか親だけでは対応するのは大変とも感じたので、この講座に参加させていただき、いい機会になりました。

(3年母)

- ・テーマの選び方、問いの立て方が、やはり大切だと感じた。こうした点は、今後学習、勉強の中でも大切な点であろうと思われるので、普段の生活においても、できるだけ気を付けてやることができればと思います。(3年母)・初めに持ったテーマが壮大だったのですが、少しわかると違うことに疑問を持ち、身近なものに繋がりました。環境問題という身近なものになったら、自分でできることを考えるようになりました。(3年母)
- ・どのように進めていけばいいのか、学ぶことができました。

引用のしかたは難しいので、何度もやりながら、確認していきたいと思います。生活の中から気づいた疑問をテーマにしたことはよかったのですが、載っている本を見つかることができず、残念でした。家で実験したり、学校の先生に聞いたりして、疑問が解決するといいなと思います。(3年母)

- ・はじめに持ったテーマが壮大だったのですが、少しわかると違うことに疑問を持ち、身近なものにつながりました。環境問題という身近なものになったら、自分でできることを考えるようになりました。(3年母)

- ・調べる内容や分かりやすい本も探していただき、とても助かりました。

調べる学習のやり方も、わかりやすかったです。(4年母)

- ・数多くの資料を選んでおいていただき、ありがたかったです。引用の仕方や奥付を見て書くことなど、大切なことを丁寧に教えていただき、子どもも大事なことを学ばせていただいているなと感じています。講座の中でわかったことをもとに、再度疑問と自分の考えをはっきりさせて、実際に見に行ったり、インタビューをしたりして、より深めていきたいと思います。2回受講させていただきました。ありがとうございました。

(5年母)

- ・1回目よりも何度も「迷子」になってしまいました。「一番〇〇が知りたかったことは何？」と尋ねても、「〇〇の種類…」となかなか広がりません。前回知ったこととは、また違うことに興味がいったのか…親としても少タイライラしたり、困ったり…。そんな時に、道案内を示してくれて、とてもホッとしました何も理解せずに、夏休みに家でこの学習をするのを思ったら、(冷や汗です。)引用の方法や実際にコンクール作品を手にとったことで、イメージもわかりました。息子のテーマにそった本を事前に用意してくれて、スタッフの皆さま、ありがとうございました。(6年母)

- ・膨らみ過ぎて、落としどころが分からなくなったり、迷走しそうだったりしたのですが、一緒に悩んで、いろいろなヒントを出してくれて、すごくありがたかったです。インタビューも試みて、自分たちなりにまとめてみようと思います。4年生から毎年お世話になってきました。本当にありがとうございました。参加できて、とても有意義でした。(6年母)

- ・親子だけでは、資料や本を探すには限界があります。毎回アドバイスをいただくことで、考えが整理されてまとめやすくなります。子ども自身が主体となって「もっと知りたい、調べたい!」とかきたてられるように親もかかわれるようにしたいです。いつもありがとうございます。頑張ってみます。(6年母)